

新国史近代史研究会

会 報

7 月
2026 年 10 日
月刊第 574 号

< 7 月拡大例会レジュメ >

合評会・宮地正人『自由民権創成史』上・下 (岩波書店、2024 年)

橋本誠一

7 月拡大例会（合評会）は、「公議」研究会（代表・奈良勝司広島大学教授）との共催で開催される。この点につき、冒頭において、「公議」研究会の皆様には深甚の謝意を表したい。

さて、本書の著者・宮地正人氏は、『幕末維新変革史』（岩波書店、2012 年、岩波現代文庫版 2018 年）刊行後、『歴史のなかの「夜明け前」』（吉川弘文館、2015 年）、『地域の視座から通史を撃て』（校倉書房、2016 年）などを相次いで刊行された。それらはおもに幕末維新时期から明治一桁代までの日本各地域の政治的動向を重点的に分析したものである。これらの執筆過程で、宮地氏は、次のように痛感されたという。

「この過程で改めて著者が痛感したことは、(一)征韓論分裂とその結果発せられた一八七四(明治七)年一月一七日、下野参議たちによる「民選議院設立建白」が果たした歴史的意義が極めて大きかったこと、(二)この大事件を契機に、日本社会は「公論世界の端緒的段階」から「公論世界成立段階」に突入したこと、(三)従来のように、幕末維新史と自由民権運動を分断するのではなく、自由民権運動を幕末維新変革が必然化した変革の第二段階ととらえた方が過渡期の通史としては論理的にも実証的にも無理がないということである。」(宮地「維新変革第二段階としての自由民権運動」、岩波現代文庫版『幕末維新変革史』下巻・補章 511 頁)

そのうえで、宮地氏は、維新时期から明治一桁代、さらには 10 年代前半までの時期を見通すために、以下のような大枠（時期区分）を提示した（同上 513 頁以下）。

- (1) 廃藩置県から征韓論分裂までの時期：薩長土肥の王政復古勲功旧四藩連合政府による万国対峙実現のための条約改正予備交渉（遣米欧使節団）と文明開化政策（留守政府）の断行。予備交渉挫折のため、日朝国交樹立・琉球島民殺害事件の解決による国家権威の上昇へ（留守政府）。征韓論大

今や戦時体制の危機

枝村三郎

県近代史研究会は1978年に、静岡県の近現代史と戦争期の研究の遅れに憂慮し発足した。会は政治的課題に対し、1881年明治100年祭に対し自由民権の研究運動を、戦後50年に「静岡県の15年戦争」の調査と研究運動を行った。安倍晋三内閣による「安保法制」に対し反対を表明した。

高市政権は「憲法九条の改悪」を目標に、「スパイ防止法」「国旗損壊罪法」「国家情報会議設置法」の法案と、議員定数の削減を国会で強行に進めている。また「国家防衛戦略」を策定し、非核三原則の見直し、全国の基地に長距離ミサイルの配置、殺傷武器の輸出、軍産学官複合体構想など戦時的な軍拡を行っている。

日本の反核平和・民主主義・立憲主義が、根底から崩される状況にある。自由な歴史研究を原点に立つ研究会の存立危機である。会は発足の原点に立ち、会報や会誌に会員による時事研究や時事的発言を期待している。

例会のお知らせ

<7月拡大例会>

日時：7月18日（土）13:00～17:00

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：本誌2ページをご覧ください。

内 容：合評会・宮地正人『自由民権創成史』
上・下（岩波書店、2024年）

報告者：橋本誠一氏（静岡県近代史研究会）、
伊故海貴則氏（北海学園大学）、今村
直樹氏（熊本大学）、リプライ：宮地
正人氏（東京大学名誉教授）

<9月例会>

日時：9月19日（土）14:00～17:00

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：9月会報に掲載します。

内 容：「史料の“その後”」をどうするか？
一冤罪事件「丸正事件」史料群保存活
動（2019-2026）の事例から

報告者：船津かおり氏（会員）

<会報に原稿をお寄せください>

会報原稿を募集しています。短いものでも結構ですので、ぜひご寄稿ください。会報原稿は、下記のアドレスにメールで送ってください。但し、掲載号については会報編集担当者にお任せください。どうぞよろしくお願いいたします。

メールアドレス：cqh00053*nifty.ne.jp
（*は@に変えてください。）

会報編集担当 川上）

静岡県近代史研究会会報 第574号（月刊）

2026年7月10日

非売品（非会員は印刷実費100円）

連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室

電話：054-264-5386（直通）

年会費：4,500円（メール会員は3,500円）

ゆうちょ銀行払込口座：00850-6-54573

ホームページ：

<https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/>